

# NGO-JICAジャパンデスク

JICAペルー事務所





# 日本のNGO等団体と ペルーを繋ぐ架け橋

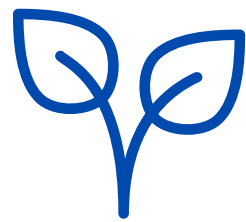
ペルーを舞台に国際協力活動に関わっている、または始めたいと考えている日本のNGO・NPO、公益法人、教育機関、自治体等をサポートする、両国を繋ぐ窓口です。JICAペルーが重点課題としている1) 経済社会インフラの整備と格差是正、2) 環境対策、3) 防災対策のみならず、持続的な発展に向けて現地と手を取り合うプロジェクトの実施を支援します。また、日本とペルーの「懸け橋」として重要な役割を果たす日系社会との連携をサポートしていることも、ペルーNGO-JICAジャパンデスクの特徴です。





# NGOデスクの主な業務

1



## 本邦NGOのペルーでの活動立ち上げ支援

- ペルーでの事業提案に向けたコンサルテーション
- 現地基礎情報、援助関連情報の紹介
- 現地のNGO情報の収集と提供
- 現地のNGOの紹介
- 各種相談への対応

2



## 草の根技術協力事業等の実施支援

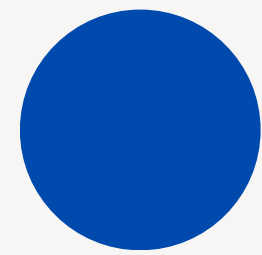
- 本邦NGOのペルーでの活動支援
- JICAの市民参加事業である草の根技術協力事業をはじめとする本邦NGOとの連携によるJICA事業に関わる調整
- 実施中案件のペルー国内での発信

3



## 日本のNGOとJICAとの連携強化に必要な業務

- 帰国研修員同窓会やJICAボランティアなど日本の支援に係る人材リソースの情報整備
- 現地NGOとのネットワーキング強化
- 日系社会との連携に関わるサポート（日系サポーター研修実施に係る支援）



# JICAの 市民参加事業

活動資金: 上限100万円

世界の人びとのための  
JICA基金



事業資金: 事業形態に合わせて  
上限1000万円 - 1億円

草の根技術協力事業

# 世界の人びとのためのJICA基金



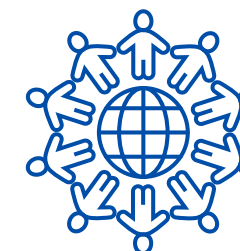
## 国際協力の第一歩

- 国際協力にご関心のある市民、法人、団体の皆様からのお預かりした寄付金を原資に持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、開発途上国・地域の人々を支援する活動提案を公募し、上限100万円を活動資金としてお渡ししています。



## 対象事業

- 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業を対象にします。
- また、日本国内での多文化共生や日本・途上国人材還流の取組みも含まれます。



## 対象となる団体

- 日本国内に法人格を有する特定非営利活動法人もしくは公益法人
- 過去2年間の平均収入が3000万円以下である団体
- 草の根技術協力事業及びNGO連携無償資金協力事業の採択実績がない団体等

# 草の根技術協力事業



日本の団体が主体的に  
提案し事業化する  
「技術協力」

草の根技術協力事業は、国際協力の意思のある日本のNGO/CSO（市民社会組織）、地方自治体、大学、民間企業などの団体が、これまでの活動を通じて蓄積した技術や経験に基づき国際協力活動を提案、JICAが提案団体に委託して実施する共同事業です。



開発途上国の様々な  
ニーズに答える

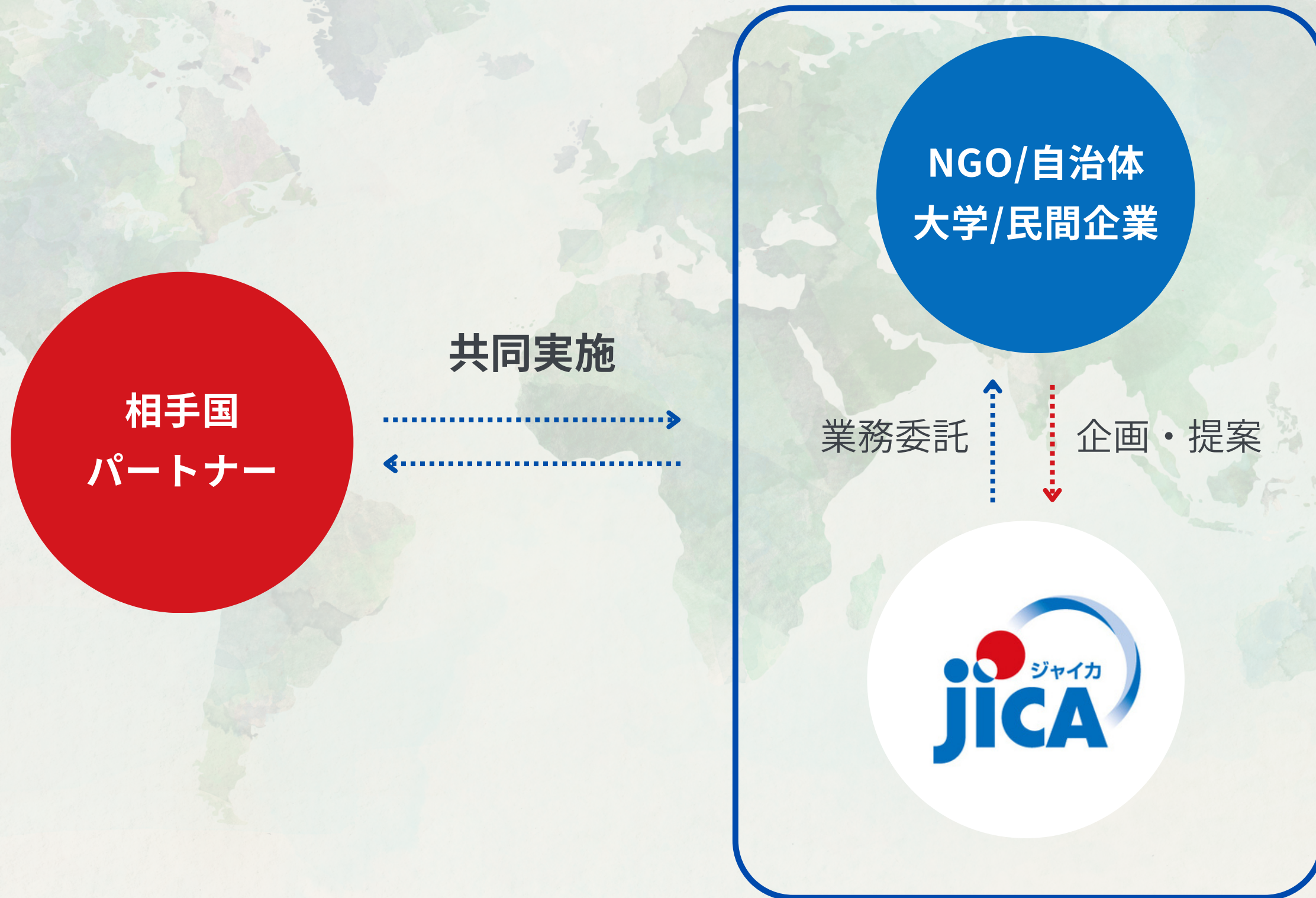
途上国の人々の経済・社会の開発や発展、または復興に寄与することを目的としたもので、「草の根」レベルのきめ細やかな協力を行うものです。



活動経験に合わせた3つの  
事業形態

- **草の根協力支援型**  
国際協力の経験が少ないNGO等団体向け
- **草の根パートナー型**  
国際協力の経験が豊富なNGO等団体向け
- **地域活性型**  
地域公共団体向け

# 草の根技術協力事業への参加イメージ



# ペルーにおける障がい児スポーツ指導力強化および普及促進プロジェクト



**実施団体:** 大分理学療法士協会

**ペルー側パートナー:** 日・秘友好・国立障がい者リハビリテーションセンター（通称: INR）

**実施期間:** 2022年2月から2025年3月（3年間）

**プロジェクト目標:** INRの医師や理学療法士が、疾病や障がいの特性および発達段階に応じた障がい児スポーツの評価や指導技術を向上することで、障がい児の活動の機会が増える。

JICA海外協力隊OVの理学療法士がボランティア活動時代に見つけた課題、「障がいを抱えた子供たちのスポーツを楽しむ機会」。専門家の支援の下で、リハビリの一環としてINRスタッフのスポーツ指導力を向上させ、子どもたちのスポーツの環境を改善し、スポーツの楽しさや喜びに触れる機会を促進させる。



**目標①**  
INRの心身障がい児部門のスポーツ運営体制が強化される。

**目標②**  
INRの医師や理学療法士の障がい児スポーツ指導能力が強化される。

**目標③**  
INR内において継続的に障がい児スポーツが提供されるようになる。

**目標④**  
リマ市および大分県民へのアプローチ（広報）



# 在日日系人が培った知識と経験を生かした コミュニティ防災力強化事業

**実施団体:**特定非営利活動法人エフエムわいわい

**ペルー側パートナー:** フェイアレグリア33校（公立学校）、ミ・ペルー区H地区  
近隣災害リスク管理委員会（通称: CVGRD）

**実施期間:** 2023年1月から2028年1月（5年間）

神戸で多言語の防災ラジオプロジェクトを立ち上げたFMわいわいと、  
阪神・淡路大震災を経験した在日日系ペルー人が共にミ・ペルー地区住民の  
自主防災力を高め、住民と行政の協力体制を整えることを通して、  
コミュニティ防災力の向上を図り、ペルー社会全体の課題解決に貢献する。



11 住み続けられる  
まちづくりを



## 目標①

地震、土砂災害、火事に対応できる住民の防災スキルや知識  
が向上する。

## 目標②

災害情報を住民に伝達し、平時には住民の防災力向上に役立つ  
情報を提供する地域メディアが整備される。

## 目標③

フェイアレグリア33校において防災教育カリキュラムが  
完成し、教職員による園児、児童、生徒、保護者への適切な  
防災教育が継続的に実施される体制が整備される。

## 目標④

ミ・ペルー地区における官民協働の地域防災プラットフォーム  
への住民や地域組織の参画が促進され、防災活動が持続的に  
実施される。

# ペルーでの草の根事業から 派生したサッポロビール社 新商品

NPOアルコイリスがペルーのスーパーフード  
「サッチャインチ」を活用した製品開発・ア  
グロフォレストリーの草の根事業実施



質の高いサッチャインチオイルが生産され、  
日本に輸出。ウカヤリ州の生産者の生活向上  
に繋がる



サッポロビール社がこの活動に着目、  
「インカの扉」が発売



# 応募からプロジェクト開始まで



毎年8月から10月ごろまで

毎年11月から翌年3月ごろまで

3月ごろ

## プロジェクト案形成・ 応募相談

- NGO等団体がカウンターパートと団体候補と課題の選定、プロジェクトを企画します。

## 提案

- NGO等団体の所在地域を担当するJICA国内拠点に応募相談を行った後、応募書類を提出していただきます。

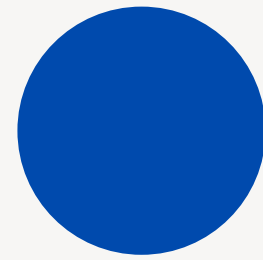
## 審査

- JICAによる資格審査・またJICA及び外部有識者による審査が行われます。

## 採択・事業開始

- 採択された後、事業計画や経費の見直しを行い、了承取り付け等終了後、事業開始となります。

募集時期などは変更となる可能性もあります。



お問い合わせ先  
JICAペルー事務所  
E-mail: [deskgyomu-pe@jica.go.jp](mailto:deskgyomu-pe@jica.go.jp)